

K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！ 合流時の接近するバイク

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

〈前方目線〉



〈右後方目線〉



交通状況

- 夜間、配送先に向かっていきます。
- 側道から、歩道のある片側2車線の道路に合流しようとしています。
- ドアミラーと目視で、右後方からバイクが接近しているのが分かります。

A

このような危険が！

✓ 右後方からのバイクとの衝突

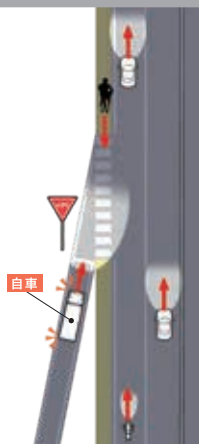
・バイクは車体が小さいので、位置が遠くに見えたり、接近速度を遅く感じたりして、誤認による衝突の可能性がある。さらに夜間だと、ライトだけが手がかりとなり判断が一層難しくなる。

✓ 前方からの自転車、歩行者との衝突

・右後方からの車両ばかりに気をとられると、歩道を走行してくる自転車や歩行者と衝突する可能性がある。

✓ 本線を走る車両への追突

・右後方のバイクを気にして、前方をしっかり確認せずに急加速で車線に合流すると、本線を走る車両に追突する危険性がある。



このような運転を！

- ✓ バイクが接近している時は、位置や速度を誤認する可能性を考慮する。接近まで十分な距離があるか確認し、なければバイクをやり過してから合流する。
- ✓ 後方だけではなく、「前方車線の状況」や「歩道を走る自転車、歩行者」にも注意して合流。